

ありがとうございました

賛助会員名簿（敬称略）＊平成18年3月31日現在

〔個人会員〕

藍沢悌三郎、会田恵、青木成子、青柳文恵、赤松浩、秋山政人、浅井麗子、浅間哲也、安達哲郎、阿部竜也、阿部俊幸、阿部裕孝、荒川正昭、新木恵子、荒海高裕、淡路しおり、井浦佐敏、五十嵐務、石井法子、石上和男、石川久雄、石田賢一、石田由美、石田芳英、石見武夫、市川俊夫、伊藤亨、伊藤寛隆、伊藤文彌、伊藤正子、糸川豊、稻吉力、井上修、井上正一、猪貞子、伊野正広、茨木政毅、今井まつ江、今井晃、今井一美、今井健一、今井まつ江、今井亮、岩佐正、岩崎洋昭、岩田和雄、岩田玲子、植木康之、上杉雅子、薄田芳丸、内山聖、浦上修啓、江口功一、大関忍、太田隆、太津裕、大西英子、大野康彦、大橋モト、大淵信隆、大村紘一、大矢肇、岡村晶子、小川一郎、小川健次、小熊美智子、小田拓也、小野新一郎、小野塚剛、加賀節子、角谷文祐、鹿島裕一、片山洋子、勝間修二、勝見秀也、加藤幸、加藤千栄子、金内敬太郎、金子よう、釜田英一、鴨居桂子、神田郁美、菊嶋いち子、菊池孝之、菊地正明、木村光子、葛野イツ子、久住由和、熊谷秀子、熊木均、熊倉美恵子、小池進、小坂正一、小島美春、後藤まり子、木花一則、小林幸一、小林茂孝、小林進一郎、小林孝、小林三千、小林良雄、近寅彦、斉藤京子、斉藤智、斉藤啓行、齋藤麻里子、坂井宏子、酒井一夫、酒井信治、寒河江一雄、坂上りい子、佐久間智子、櫻井明子、佐々木繁、佐々木隆、佐藤眞吉、佐藤達夫、佐藤富雄、佐藤信夫、佐藤裕美、佐藤由美子、三條正明、志賀正之、鹿間務、篠川和夫、篠田和博、渋谷優子、下條文武、下村宣子、白川紀子、白砂城芳、神保和男、新保成美、新保信夫、杉本智子、鈴木昭、鈴木幸枝、鈴木孝、須田真奈、清田義和、関清、関田浩之、関谷啓太郎、園田裕久、田井英子、大福敏雄、高井昭三、高木卯一、高沢修一、高田盛太、高德幸男、高野勝、高橋清美、高橋公太、高橋茂、高橋純子、高橋恒雄、高橋知義、高橋安子、高畑慶一郎、高宮治生、竹内秋子、竹内一成、竹内紀夫、武田さち江、武田啓治、武田雅人、竹山文雄、田中勝治、田中新一郎、田中園子、田中政則、谷川隆朔、玉井章広、田宮保治、田村正一、田村芳昭、梶野光雄、塚本智子、堤清次、坪川トモ子、東樹宏明、外川八洲雄、登坂健二郎、中川邦夫、中川悟、長崎浩爾、長沢京子、長沢忠雄、永瀬吉彦、中富豊、中野アヤ子、中野實、永野薫、中浜千鶴、中村幸一、中村勉、中村恒夫、中村敏子、中村永大、中村義則、難波彰司、難波秀道、西正與、西巻知佐子、庭山直子、野崎正博、羽柴正夫、橋本薫、馬場光雄、ハバエリコ、速水梅子、原ヨシ子、樋口広美、平石信一郎、平澤由平、深川光俊、藤島淳、藤田弘一、藤森仁行、武藤謙介、武藤昭三、帆刈久美、星野明子、星野真澄、堀井淳一、真島和徳、松田隆夫、松田英伸、松田由紀夫、松元寿、松元直子、丸山敏男、丸山仁、丸山裕子、丸山優美、三浦哲、三浦淳、三浦則子、水間明子、光永喜衛、皆川武、皆川陽子、宮崎次郎、宮下忠雄、宮下晴美、宗像利幸、本山まり子、百都政弘、森下英夫、森平仁、八百枝浩、矢澤美義、柳京三、矢野繁、八幡健二、山崎肇、山崎英俊、山田順子、山田正樹、山田真理子、山田稔、山田洋子、山本栄子、山本正、山本正男、湯浅保子、横山芳江、吉田澄雄、吉田和清、吉田達夫、吉田正嘉、吉田守、吉山直樹、依田税、若井静子、鷲津徹、渡辺彩子、渡邊和仁、渡辺誠、渡辺勝、渡辺美智子、渡部透

個人会員 285名 計 683,000円

〔法人会員／医療機関〕

青柳医院、いしい眼科、五日町病院、大野眼科、小千谷総合病院、亀田第一病院、北日本脳神経外科病院、喜多町診療所、木戸病院、黒川病院、甲田内科クリニック、児島眼科、小林内科医院、こんの脳神経クリニック、斉藤内科・消化器科医院、さかうえ眼科医院、佐渡総合病院、三条総合病院、山東第二医院、信楽園西川診療所、信楽園病院、上越総合病院、せき眼科医院、立川メディカルセンター、茅原クリニック、町営診療所みかわ、椿田病院、登坂眼科医院、豊栄病院、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院、中条病院、長沼医院、南部郷厚生病院、南部郷総合病院、新潟県済生会三条病院、新潟脳外科病院、新潟南病院、新潟臨港病院、新潟労災病院、新津医療センター病院、日本歯科大学新潟歯学部、丹羽医院、白明堂眼科、ほしの医院、本間医院、舞平クリニック、松田眼科医院、三浦内科医院、三島病院、村上総合病院、村上是まなす病院、村上記念病院、森田内科医院、山口医院

法人会員（医療機関） 56団体 計 780,000円

〔法人会員／企業・団体〕

アド・メディック、池田医療電機、糸魚川医師会、糸魚川病院腎友会、エーザイ(株)、大森八千代会、小千谷市魚沼市川口町医師会、小千谷腎友会、小野薬品工業(株)、下越病院腎友会、柏崎薬剤師会、敬和学園大学、健康医学予防協会、五泉六島友の会、佐渡腎友会、三市中蒲東蒲医師会、三条市医師会、三島郡医師会、山東腎友会、山北徳友会、新発田北蒲原医師会、(社)新潟県歯科医師会、上越医師会、燕市医師会、十日町市中魚沼郡医師会、十日町腎友会、栃尾市古志郡医師会、直江津ローターリーグクラブ、長岡蒼葉ライオンズクラブ、長岡市医師会、長岡悠久ライオンズクラブ、長岡ライオンズクラブ、新潟移植者の会、新潟科学技術学園新潟医療技術専門学校、新潟県医師会、新潟県医薬品卸組合、新潟県栄養士会、新潟県介護老人保健施設協会、新潟県看護協会、新潟県健康管理協会、新潟県腎臓病患者友の会、新潟県成人病予防協会、新潟県接骨師会、新潟県放射線技師会、新潟県立中央病院腎友会、新潟県臨床衛生検査技師会、新潟県労働衛生医学協会、新潟青陵大学、新潟セントラルライオンズクラブ、新潟大学歯学総合病院第二内科、新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野、新潟調理師専門学校、西蒲原郡医師会、ニプロ(株)新潟支店、富士タクシー、扶桑薬品工業(株)、源川医科器械株式会社、南魚沼腎友会、村上市岩船郡医師会、村上腎友会、弥彦ライオンズクラブ

法人会員（企業・団体） 61団体 計 720,000円

寄付金 21件 計 573,368円

※ご子息さまの志により、山形県酒田市の五十嵐直記さまから500,000円の寄付金をいただきました。
※平成18年4月、新潟県ライオンズ・アイバンク協議会より200,000円の指定寄付金をいただきました。

財団法人 新潟県臓器移植推進財団

〒950-8570 新潟市新光町4番地1 新潟県庁12F 健康対策課内 TEL・FAX:025-283-4880
ホームページ <http://www.niigata-ot.net>

3号

Relay for you

一臓器移植はあなたの意思をつなぎます一

新潟県臓器移植推進財団だより

平成18年8月発行 財団法人 新潟県臓器移植推進財団

一臓器移植はあなたの意思をつなぎます一

新潟市新光町4番地1(新潟県福祉保健部健康対策課内) TEL: 025-283-4880 発行人: 荒川正昭

献腎移植の普及を願って



当財団 常務理事
平澤由平（信楽園病院顧問）

周知のように、腎不全治療には透析治療と腎移植があり、どちらも優れた治療成績をあげております。実際に、透析治療によって天寿を全うする人たちもみられるようになってまいりました。一方、腎移植も拒絶反応の抑制治療の飛躍的な進歩により、生体腎のみならず、死体腎（献腎）からの移植も90%を越す成功率（生着率）を収める状況となり、以前には想像もできなかったような、新しい時代になってきたと考えています。腎移植治療では、生きた腎臓が機能していますので、透析治療ではなかなか克服できなかった骨・関節病変や神経症の合併などが予防されますし、また何よりも、透析に要する時間が節約されますので、社会復帰が容易となるメリットがあります。

私が主治医をしていた2人の透析者が、5年前および3年前にそれぞれ献腎移植を受け、以来、健常者と全く同様

に社会復帰を果たしていますが、この人たちを見てみると、献腎移植の素晴らしさを実感しますと同時に、腎提供者の善意の結実に改めて感動いたします。

腎不全の人の中には、合併症のため透析療法がより適している人たちも少なくありません。結局、身体状況や年齢などによって、透析か移植かが選択されることとなりますが、献腎が得られれば移植を受けて、優れた予後が獲得できるであろうと思われる人たちが多くおります。そして、この中には腎移植の訪れる日を夢見て、献腎移植登録を続けている人たちも多数になってきております。

県民の皆さまには、腎移植の実情をご理解いただき、臓器提供意思表示カード（いわゆるドナーカード）を保持する、移植推進運動にご協力をいただきたく、心からお願い申し上げます。

臓器移植フォーラム2006 inしばた

臓器移植について考えませんか？ 参加費は無料です。ぜひご参加ください。

日時 10月1日(日) 13:00~15:00
会場 サン・ワークしばた(新発田市五十公野)
主催 新潟県腎臓病患者友の会、新潟県新潟県臓器移植推進財団

財団ホームページをリニューアルしました！

新潟県臓器移植推進財団のホームページをリニューアルしました。より多くの方々に見てもらえるホームページを目指して、内容も充実させ、意見交換ができる掲示板も新たに設置しました。どうぞご覧ください。



<http://www.niigata-ot.net>

グリーンバッチ運動にご協力ください



グリーンバッチのモチーフは絡み合った枝。ギフトオブライフ（命の贈り物）によって結ばれたドナーとレシピエントという、二つの生命のつながりを表しています。バッチが多くの人の胸に付けられることで臓器移植に対する理解が広がっていくことを願っています。バッチは100円以上のご寄付をくださった方へお渡ししています。関心を持たれた方は当財団までお問い合わせください。

リストバンドを身につけませんか？



〈移植で助かる命について考えた証〉として、2005年に(社)日本臓器移植ネットワークで作成したグリーンとイエローのリストバンド。中には、臓器提供意思表示カードも同封しています。リストバンドを身につけ、カード携帯の意識が広がるようご協力ください。

※健康まつりなどで配布しています。ご希望の方は、当財団へご連絡ください。